

財政収支(1-8月)

(1) 1-8月の歳入は前年同期比75.2%増、税収は同69.6%増。歳出は前年同期比84.1%増。
 (2) 結果として1-8月の財政収支は9,735.54億リラの赤字(前年同期比153.9%増)、プライマリーバランスは2,095.45億リラの赤字(同1353.6%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2023年1-8月(A)	2024年1-8月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	29,987.19	52,530.15	75.2%
税収	25,958.11	44,018.15	69.6%
所得税	3,981.19	8,758.41	120.0%
法人税	4,733.99	5,006.14	5.7%
付加価値税(国内及び輸入)	8,360.27	14,631.41	75.0%
特別消費税	5,127.46	8,717.17	70.0%
その他税収	3,755.20	6,905.02	83.9%
税外収入等	4,029.08	8,512.00	111.3%
歳出(b)	33,821.03	62,265.69	84.1%
人件費	8,265.34	17,615.32	113.1%
物品及びサービスの購入	2,320.56	3,862.12	66.4%
経常移転	14,120.53	24,077.52	70.5%
資本支出	1,992.27	4,485.96	125.2%
支払利子(c)	4,001.00	7,640.08	91.0%
その他歳出	3,121.33	4,584.69	46.9%
財政収支(a-b)	▲ 3,833.84	▲ 9,735.54	▲ 153.9%
基礎的財政収支(a-(b-c))	167.16	▲ 2,095.45	▲ 1353.6%

経常収支(2024年1-7月)

(1) 2024年1-7月の経常収支は、160.48億ドルの赤字(前年同期は419.91億ドルの赤字)。
 (2) 2024年1-7月の貿易収支(物品)は357.38億ドルの赤字で前年同期から赤字幅減少、旅行収支は238.08億ドルの赤字で前年同期から黒字幅拡大。

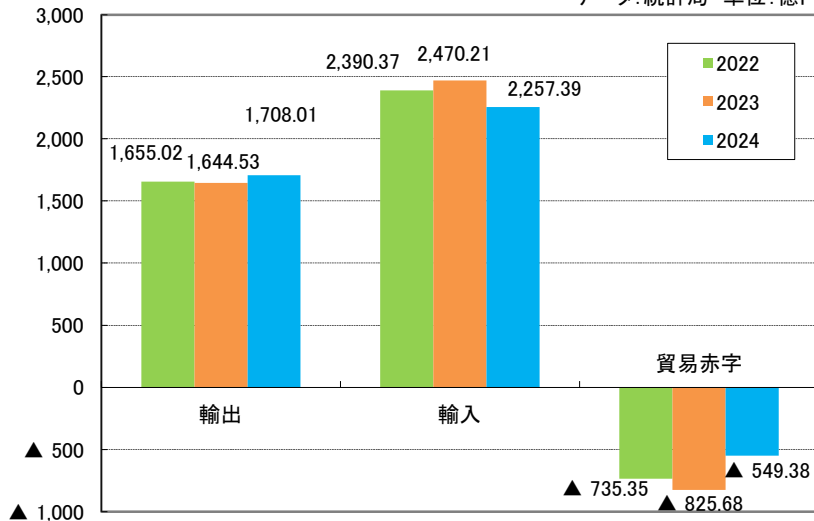
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2023年1-7月(A)	2024年1-7月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 419.91	▲ 160.48	61.8%
貿易収支(物品)	▲ 617.52	▲ 357.38	42.1%
サービス収支	264.68	282.54	6.7%
旅行収支	211.16	238.08	12.7%
第1次所得収支	▲ 69.03	▲ 85.88	▲ 24.4%
第2次所得収支	1.96	0.24	▲ 87.8%
労働者送金	1.22	0.52	▲ 57.4%
資本移転等収支	▲ 1.10	▲ 1.05	4.5%
金融収支	▲ 482.55	▲ 221.21	54.2%
直接投資	▲ 27.49	▲ 26.63	3.1%
証券投資	▲ 0.47	▲ 158.91	▲ 33710.6%
その他投資	▲ 217.04	▲ 26.58	87.8%
外貨準備	▲ 237.55	▲ 9.09	96.2%
誤差脱漏	▲ 61.54	▲ 59.68	3.0%

貿易収支(1-8月)

(1) 1-8月の輸出額は1,708.01億ドル(前年同期比3.9%増)、輸入額は2,257.39億ドル(同8.6%減)となり、この結果、貿易収支は549.38億ドルの赤字(同33.5%赤字幅縮小)となった。
 (2) 1-8月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は41.7%(前年同期は41.9%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は32.1%(前年同期は28.5%)となっている。

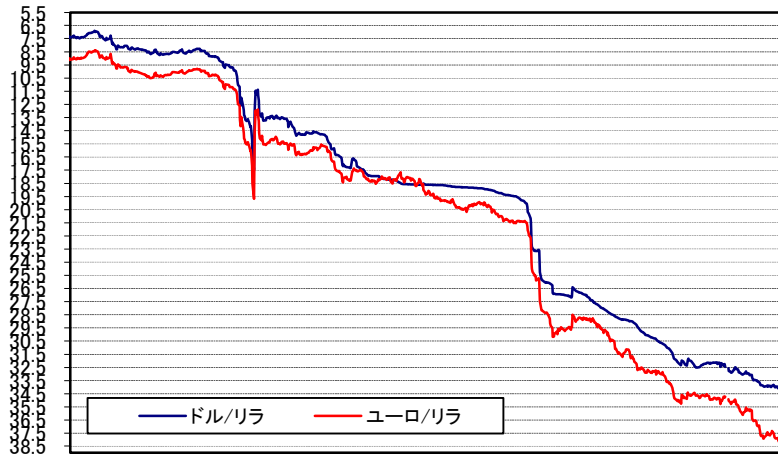
データ:統計局 単位:億ドル



為替(9月)

中東地域における地政学リスクが意識され、対ドル・ユーロともにリラ安方向。月末時点では1ドル=34.12リラ(前月末比0.5%安)、1ユーロ=38.17リラ(同0.9%安)となった。

データ:中央銀行 単位:リラ

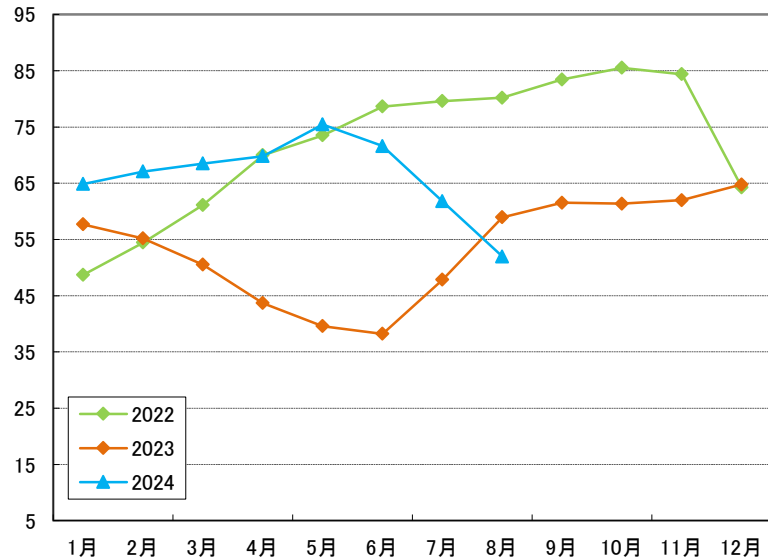


21/1 21/4 21/7 21/10 22/1 22/4 22/7 22/10 23/1 23/4 23/7 23/10 24/1 24/4 24/7

消費者物価上昇率(8月)

- (1)8月の消費者物価は前年同月比51.97%増、前月比2.47%増。
- (2)項目別にみると、教育が前年同月比120.81%、前月比11.34%となり最も上昇した。
- (3)2024年末のインフレ率の中銀目標(8/8時点)は前年同月比38%。
- (4)国内生産者物価指数(8月)は前年同月比35.75%増、前月比1.68%増となった。

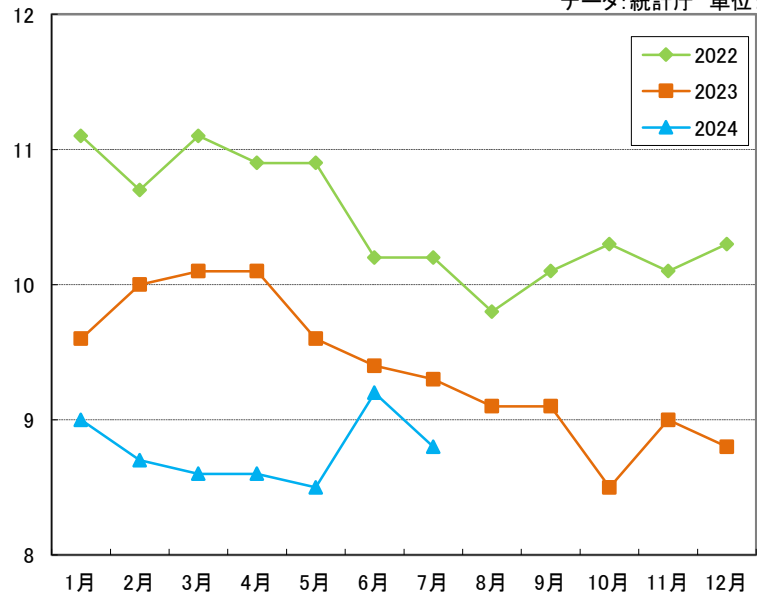
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(7月)

- (1)7月の失業率(季節調整後)は8.8%となり、前月から0.4ポイント低下。
- (2)労働力人口は3,587.9万人、就労者数は3,271.2万人、失業者数は316.7万人。
- (3)男性の失業率は7.0%、女性は12.4%。若年層(15-24歳)の失業率は16.6%となっている。

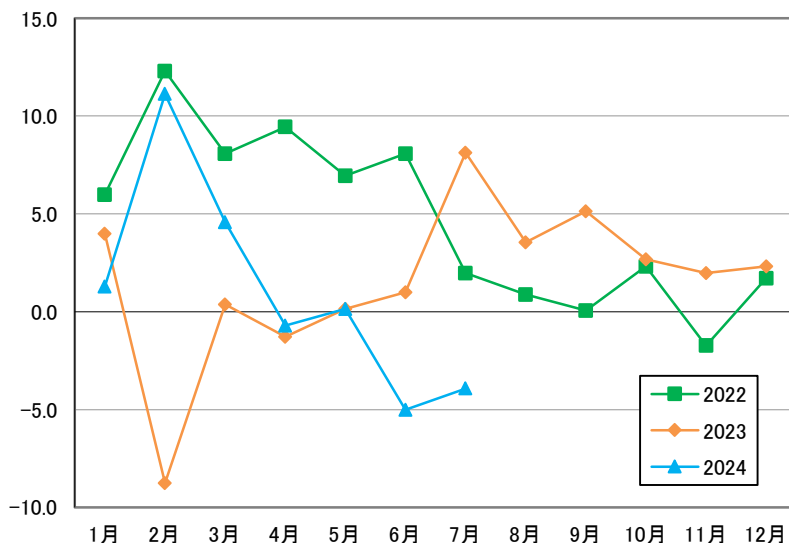
データ:統計庁 単位:%



鉱工業生産(7月)

(1)7月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)3.9%減。
(2)分野別では、耐久消費財が前年同月比3.9%減、資本財が同8.1%減、中間財が同4.3%減となった。

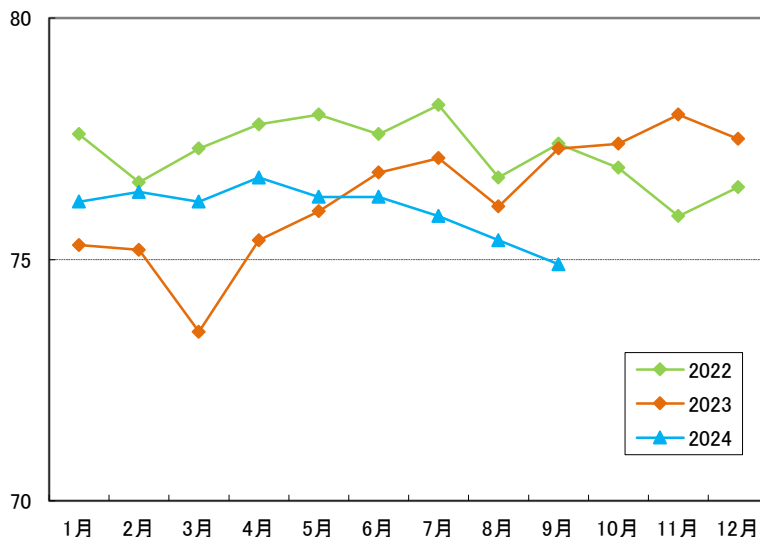
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(9月)

(1)9月の設備稼働率は74.9%となり、前年同月から2.4ポイント減少し、前月から0.5ポイント減少。
(2)製造業の分野別では、パルプ・紙・紙加工品製造業(83.1%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(61.4%)が最も低い稼働率であった。

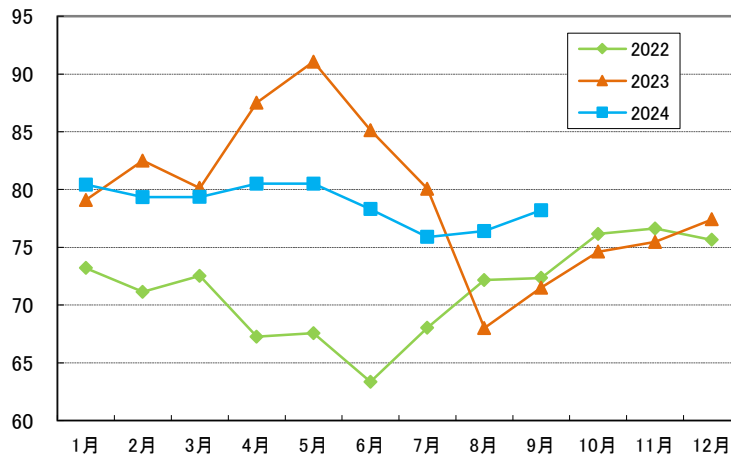
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感指数(9月)

(1)9月の消費者信頼感指数(季節調整値)は78.2ポイントとなり、前月から1.8ポイント上昇。
(2)内訳では、「現在の家計の財政状況」、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇。

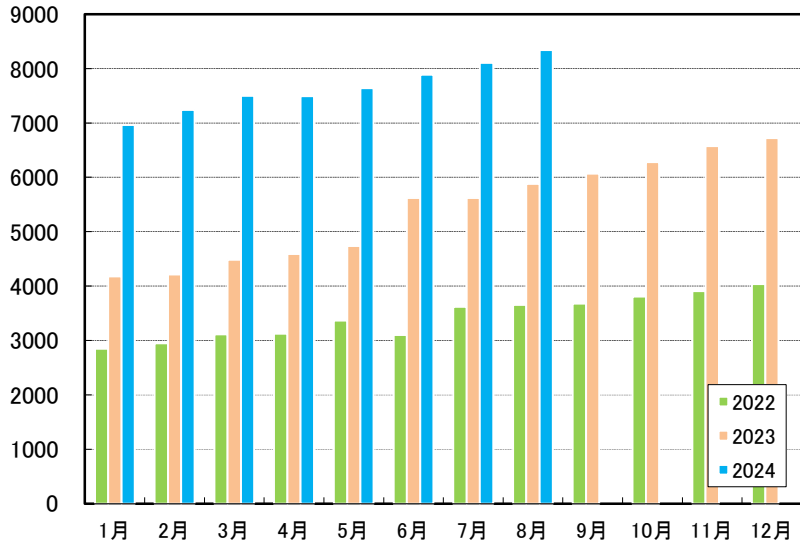
データ:統計庁 単位:ポイント



中央政府債務残高(8月)

(1)8月末時点での中央政府債務残高は8兆3,388億リラとなり、前年同月比41.8%増、前月比2.9%増となった。
 (2)また、国内債務比率は50.3%、自国通貨債務比率は40.9%(2023年末は35.8%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.8%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

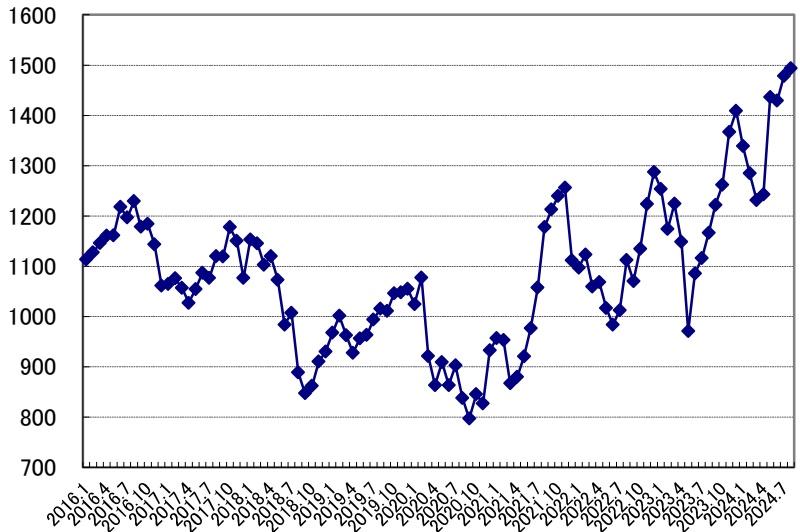
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(8月)

(1)8月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,493.73億ドルとなった。
 (2)前月から152.3億ドル増加した。

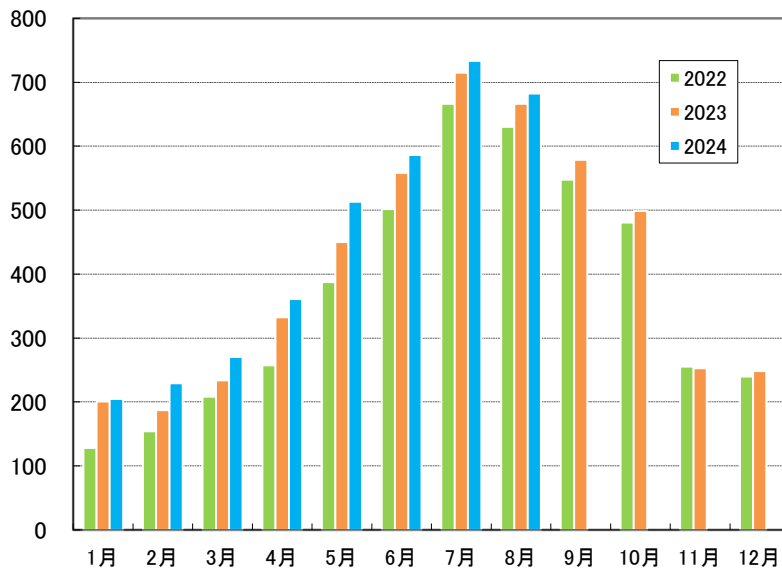
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(8月)

(1)8月の外国人訪問者数は6,825,403人で、前年同月比2.47%増。日本は16,192人であった(前年同月は8,867人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、939,370人で全体の13.76%を占め、以下、ドイツ(882,703人)、英国(668,079人)となっている。

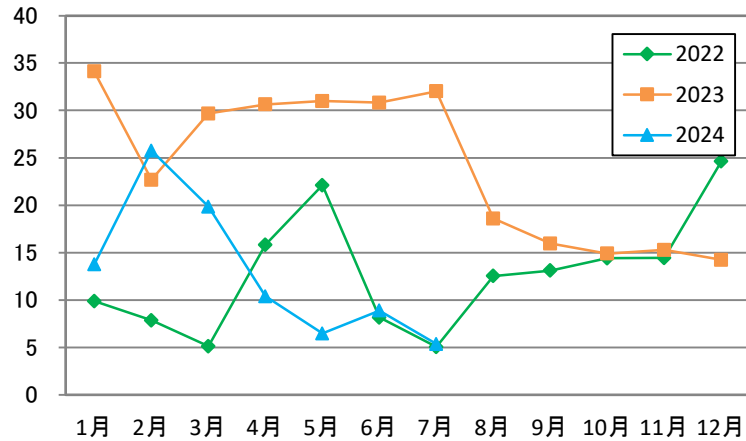
データ:文化観光省 単位:万人



小売売上高(7月)

(1)7月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)5.4%増、前月比(季節及び日数調整後)0.8%増。
(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比10.9%増、情報・通信機器が同22.2%増となった。

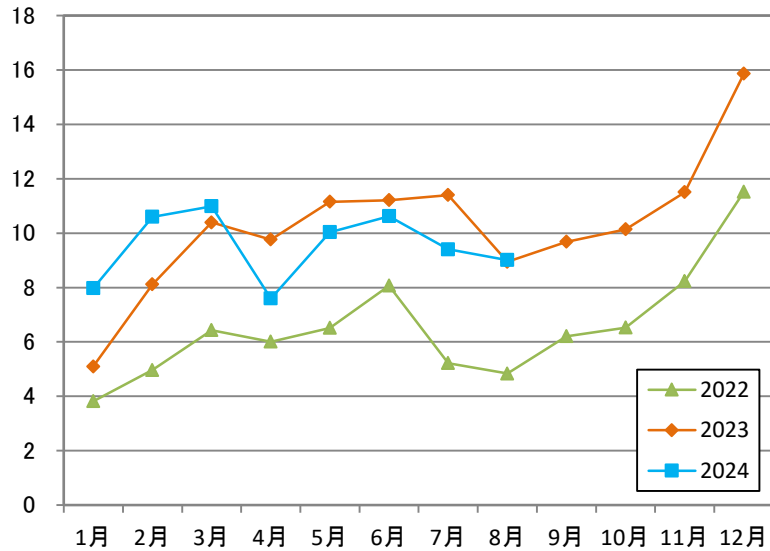
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



新車販売台数(8月)

(1)8月の新車販売台数は90,134台で前年同月比0.76%増。
(2)8月の内訳は乗用車が69,288台(前年同月比0.2%増)、小型商用車が20,846台(同2.6%増)となった。

データ:自動車販売協会 単位:万台



住宅販売戸数(8月)

(1)8月の住宅販売戸数は134,155戸で前年同月比9.88%増となった。
(2)8月は新築が41,913戸(前年同月比18.7%増)、中古が92,242戸(同6.3%増)。
(3)8月の住宅ローンでの購入は13,574戸(前年同月比17.1%減)、その他が120,581戸(同14.1%増)。

データ:統計庁 単位:万戸

